

家田愛子編著『18歳からの教養ゼミナール』

- 大学生必携のテキスト！ 知識・実践スキルともに充実！ -

社会で必要な知識・思考を培い、大学での学びに必要な実践スキルを身につける、分かりやすい入門書

#### 【「はじめに」より】

「18歳の教養」とは、大学で学んだ者であれば、最低限これくらいの教養・知識・モラルは身につけておいてほしいという程度のいわば雑学としての「大人の教養」である。…各テーマはそれを研究対象とする専門家としての研究者によって書かれており、知的好奇心をもった読者が関心をもって勉強を深めていけば、専門的知識の領域にまでたどり着くことができるように、本書は工夫されている。専門教育に入る前の導入教育としての1年次のゼミナールで、広く浅くではあるがこれらのテーマについて学び考える機会があれば、多少なりとも教養的知識が増え、考える幅が広がり、2年次以降の勉強への関心も広がると期待したい。

#### 【本書の使い方】

第1部テーマスタディで学ぶ。知識を得るだけでなく、各章 Let's Study! で更に自分でリサーチし議論を深める。更に踏み込んで学ぶときに必要な文献も Further Readings として随所に織り込まれている。第2部は資料検索・収集から発表やレポート作成の方法まで、大学での学びに関する実践スキルを具体的に分かりやすく説明。各章 Let's Try!などで練習を重ねながら、スキルを着実に身につけることができる。各章、グラフ・図表等データも充実。コラムも多数掲載。

【刊行】2005年3月 【体裁】A5判 上製 216頁（予定） 予価2400円＋税

#### 【目次抜粋】

はじめに（家田愛子）

第 部

第1章 世界は人権問題に満ちている！？（伊藤雅康）

人権侵害ってなんだろう？ / 人権もいろいろ / 人権の侵害者もいろいろ / 人権問題へのまなざし

第2章 ジェンダーフリーに生きる（布施晶子）

ジェンダー・イメージの作られ方 / ジェンダーと家族 / ジェンダー・フリーについて考える

- 第3章 セクシュアル・ハラスメントはなぜ起きるのか（大國充彦）  
権力現象としてのセクシュアル・ハラスメント／キャンパスに潜むセクシュアル・ハラスメント
- 第4章 日本の子どもは権利を十分に満たされている？（富田充保）  
世界の子どもの権利実態にあらためて心を寄せ日本を見つめ直す／日本の子どもの権利要求に耳を傾ける／子どもの権利を自らの問題としてつかみ直す
- 第5章 政治参加への視点（西尾敬義）  
国政における政治参加／地方政治における
- 第6章 人と人とのつながりを大切に（小内純子）  
注目される地域・市民活動／NPOをもっと知ろう！／新たなコミュニティに向けて
- 第7章 NGOや市民は世界の平和にいかにかかわるべきか（橋口豊）  
国家に安全保障をすべて任せるべきなのか？／NGOと「人間の安全保障」／真の平和な未来を願って
- 第8章 どう働く？どう生きる？（川村雅則）  
どんな風に働きたい？／高失業率の時代、到来？／就職難の時代に、働くことについて考える
- 第9章 男女差別の現実（菅野淑子）  
差別だと感じる瞬間を経験したことがありますか／格差があればすべてが差別なのではありません／差別はかたちを変えて現れる／結婚しても働きつづけたいですか／理解しあうことから
- 第10章 過労死あるところに少子化あり（家田愛子）  
過労死と少子化って関係あるの？／現代の闇、過労死／なぜ死ぬほど働かなくてはならないのか？／産まない理由・産めない理由
- 第11章 困ったときはお互い様（片桐由喜）  
社会保障とは／一人は万人のために、万人は一人のために／「人間らしい生活」の実現のために／支えあって生きてゆこう
- 第12章 クルマ社会を考える（山本純）  
繰り返され、増大する悲劇／モータリゼーションと道路交通事故／ゆとりあるクルマ社会へ
- 第13章 若者の健康管理を喫煙から考える（光武幸）  
なぜ、若者はたばこを吸うのだろうか／タバコを止めよう・非喫煙者のままでいよう
- 第14章 エイズ（AIDS）と人権（佐々木胤則）  
エイズのこれまでと今／性の営みとHIV感染について／もっとエイズを考えよう！
- 第15章 ケータイの功罪と消費者（碓井和弘）

ケータイは変わる、ケータイが変える?! / ケータイによって囲い込まれる消費者  
/ 上手にケータイと付き合いおう

第 16 章 地球規模の環境問題とは? (桜井道夫)

タマちゃん現る / 有害物質の垂れ流しがもたらしたもの / 環境論栄えて環境亡ぶ

第 部

第 17 章 レポート・レジюме作成の心構え (佐々木冠)

大学生活で要求される表現手段 / レポート・レジюмеに欠かせない要素 / 問題設定  
と答えを含んでいること / データソースが明示されていること / オリジナリティー  
があること

第 18 章 レポートの書き方 (佐々木冠)

レポートを書くにあたっての注意点 / 手順/内容に関して注意すべきこと / レポート  
の形式に関して注意すべきこと / レポートを作成する上で注意すべきその他の事柄

第 19 章 レジюмеの作り方・口頭発表の仕方 (佐々木冠)

レジюмеとは何か / レジюмеの作り方 / 発表原稿の作り方 / 口頭発表の際の留意点  
/ ゼミ参加者も発言を求められる

第 20 章 図書館は君の情報収集基地だ (小沢隆司)

大学図書館へ行こう / 本だけじゃないぞ / 資料の探し方

第 21 章 インターネットで何が調べられるのか? どう調べたらいいのか? (高橋徹)

インターネットで情報収集 / 検索サイトを使ってみよう! / ネット上にはどんな資  
料があるのか? / インターネットの資料を有意義に利用するために

本書のご採用をご検討頂けます場合には、下記までご一報下さい。詳しい目次・資料等お  
送りさせていただきます。

- \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* -

(株)北樹出版

〒153-0061 東京都目黒区中目黒 1 - 2 - 6

Tel : 03-3715-1525 Fax : 03-5720-1488

- \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* - \* -